



PRESS RELEASE

平成 17 年 7 月 15 日
ジャパン ケーブルキャスト株式会社

**伊那ケーブルテレビジョン(株)および(株)エコーシティー・駒ケ岳、
共同ヘッドエンドを構築し、JC-HITS 利用によるデジタル化を決定！**

～ JC-HITS と ReMUX ネットワークとの併用により、効率的な自主放送運営を図ります。～

伊那ケーブルテレビジョン株式会社(以下、ICT、本社所在地:長野県伊那市、代表者:代表取締役 向山公人氏)および株式会社エコーシティー・駒ケ岳(以下、CEK、本社所在地:長野県駒ケ根市、代表者:代表取締役 中原正純氏)は、ジャパン ケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都中央区、代表取締役社長:藪下 憲一)が提供するケーブルテレビ局向けデジタル化ソリューションサービス「JC-HITS」(ジェイシー・ヒッツ)を利用して、CS 多チャンネルサービスのデジタル化を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

ICT は、長野県伊那市、高遠町、箕輪町、南箕輪村の約 2 万 4 千世帯、CEK は長野県駒ケ根市、飯島町、宮田村、中川村の約 1 万 4 千世帯を対象にケーブルテレビサービス、インターネット接続サービス、IP 電話サービスを提供するケーブルテレビ事業者です。この度 ICT および CEK では、共同でヘッドエンドを構築し、JC-HITS を全面的に利用して CS 多チャンネル放送サービスのデジタル化を行うことを決定しました。平成 17 年 11 月を目処にサービスを開始する予定です。

ICT および CEK の両社では、それぞれが複数の異なる行政区域にサービス展開しているため、両社で共通に利用するチャンネルと、各社が独自に運営する各行政区域毎の自主放送チャンネルとを経済的かつ効率的に実現するシステム構築が課題でありました。両社は、CS 多チャンネルおよび両社共通の自主放送は JC-HITS ネットワークを利用し、各社が独自に展開する各行政区域毎の自主放送チャンネルは ReMUX ネットワーク(ノンスランブル)を利用することで、最も効率的かつ柔軟な対応ができると判断し、JC-HITS の採用を決定しました。さらに RF リターンによる PPV を始めとした双方向サービス展開の充実が図れることなど、競争激化が予想されるデジタルサービス市場において、トータルデジタルサービスを実現するための最適なソリューションとして JC-HITS を高く評価されました。

JC-HITS サービスは、デジタルならではの高付加価値サービスを効率的に実現できる最適なデジタル化ツールとして、ケーブルテレビ事業者様に幅広く認知、ご理解をいただいております。今後ともケーブルテレビ事業者様と一体となって、ケーブルテレビ業界の一層の発展のため効率的なソリューションを提供してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)
ジャパン ケーブルキャスト(株) 経営企画部 前田
電話 03-5299-2502
URL: <http://www.cablecast.co.jp>